

平成30年度 市民の声一覧(平成30年10月分～平成31年3月分)

受付月	分類	件名	市民の声の内容の概要 (公表用)	回答(対応)内容の概要 (公表用)	担当課
11月	観光・イベント	「見えざる輸出」日本のインバウンド観光の振興について	<p>日本の観光産業のうちインバウンド観光は、特に伸び代の大きい将来性のある成長産業です。2017年の日本のインバウンド数は2,869万人ですが、日本の近隣4か国で日本のインバウンド数の75%を占めており、アジア諸国からの急増と偏りが顕著です。</p> <p>日本は、観光資源の4条件である「気候・自然・文化・食事」すべてが揃っている世界的にも稀有な国です。日本は、観光後進国ですが、取組次第で先進国への伸び代は大きいです。この中で、ラグビーWカップ、東京オリンピック・パラリンピックは絶好のチャンスです。</p> <p>インバウンド観光振興の目的は、訪日観光客からできるだけ多くの外貨を落として貰うことです。効率的な対応のためには、セグメンテーションによるインバウンド・ターゲットの明確化が欠かせません。特に、現状15%のウエイトしかない米欧豪の富裕層の観光客を呼び込む戦略の実践が重要です。また、インバウンド・リピーターの増加により今後の地域創生が期待できるため、表玄関である東京の「第一印象」と「満足度」が極めて重要です。</p> <p>ところで、世界的に観光地の受入れ態勢が追いつかず、観光公害(混雑・渋滞、自然環境・景観の破壊、文化財の毀損等)が世界各地の観光地で顕在化し、社会問題化しているため、健全で均衡ある観光振興が進められなくてはなりません。</p> <p>また、観光振興を阻むリスクとして、戦争、治安、政治情勢、経済変動、自然災害、感染症、風評被害等がありますが、国や自治体の防災・減災対策、観光関連事業者のBCP等のリスク管理態勢の構築が欠かせません。</p> <p>インバウンド観光は、外貨獲得により人口減少下の日本経済の活性化と地方創生に貢献でき、外国人との交流を通じてお互いの文化や国民性を理解し合い、日本の本当の良さを感じてもらうことができます。この2つにより市民生活が豊かにできると思料します。</p>	<p>この度は貴重なご意見をいただきまして誠にありがとうございます。資料等を拝見させていただき、改めて日本国内の人口減少が進行する中で、インバウンド観光の重要性に気づくことができました。</p> <p>国内消費の拡充が見込みにくい状況で、外国の方に魅力を発信し日本に、そして高知に来ていただくことで高知市をはじめ、県内市町村が豊かになることが大切と考えます。</p> <p>本市では5年間で計画期間とする観光振興計画を策定しており、インバウンド観光の推進や、新たにスタートした県内市町村との連携事業などを重点テーマとして、現在、平成31年度からの次期計画を立てている段階ですので、今回賜りましたご意見を参考にさせていただきますたいと考えています。</p> <p>最後になりますが、高知市がより魅力的なまちとなるよう、観光振興に取り組んでいく所存ですので、今後ともよろしく願いたします。</p>	観光振興課